

K I Y O S A T O

2025・9

# 組合だより

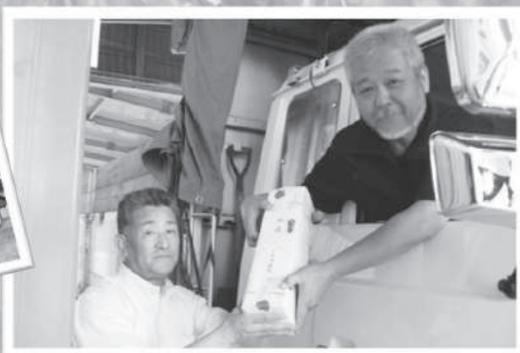
No.391



## Topics

- ・令和7年度小麦刈取り終了!
- ・女性部活動特集
- ・清里切麦&長いも対面販売

# 令和7年度 小麦刈取り終了



## ○小麦操業安全祈願祭

7月15日、麦作操業を前に麦作神威工場にて、令和7年度麦作操業安全祈願祭が執り行われ、本年度も事故や怪我無く無事に操業を進められることを祈願致しました。

## ○受入報告

麦作工場は、前年より4日早い7月18日から稼働し、一般の秋まき小麦・春まき小麦合わせて9日間の受入となりました。

本年度は高温・干ばつの影響も相まって、製品推定収量等の各項目において、「きたほなみ」、「春よ恋」共に昨年度を下回る結果となりました。現在、最大限の製品確保に努めるため、米麦改良協会やホクレンと連携しながら調製作業を進めております。

## 受入状況報告

	きたほなみ	春よ恋
乾麦推定反収	11.30俵	7.35俵
整粒率	86.0%	84.0%
製品推定反収	9.72俵	6.18俵
受入期間	7/18～25 (うち6日間)	7/25～31 (うち4日間)
種子麦製品推定反収 (清里分)	10.86俵	6.89俵

麦刈り期間中は組合員各位のご理解とご協力のもと、無事終了できましたことに対し、深く感謝申し上げます。

○清里町フェア 7月5～6日 (北広島市 ホクレンくるるの杜)



## 特産品対面販売イベントに参加!



J A 清里町が誇る「清里切麦」と「清里産長いも」をもっと多くの方にPRするべく、この夏は様々な対面販売のイベントに参加して参りました。また、清里町役場の「清里じゃがいも焼酎」が今年50周年の節目を迎え、共にPR活動も行いました。

今回のイベント会場はどちらもレストランが併設されており、観光物産展、清里町フェアではランチタイムのビュッフェに当JAの特産品を使用したメニューを組み込んでいただきました。実際に料理を召し上がったお客様が「美味しかったから買いに来ちゃった!」と笑顔で来店してくださるなど、今回のイベントで多くのお客様と触れ合い、商品への声を直接聞くことができたことは、生産者・関係者としてもとても大きな励みになりました。今後も魅力たっぷりの清里町の特産品をたくさんの方に伝えられるよう励んで参りますので、引き続きJA清里町の取り組みへのご注目と応援をよろしくお願い致します!



○清里町観光物産展  
6月24～25日  
(札幌市 ホテルポールスター札幌)



○杜の感謝祭  
8月9～10日  
(北広島市 ホクレンくるるの杜)

# 女性部活動特集

## JA清里町女性部視察研修

6月23日～24日



昼食を取ったり、  
家族へのお土産を購入！

DAY1

### 三井アウトレットパーク

DAY2

### (株)マキタ

当JAの資材センターでも取り扱いのある(株)マキタでは、会社の歴史や主な商品についてご説明をいただきました。その後、事前に女性部から募った質問や意見・要望にひとつひとつ丁寧に答えいただき、さらに説明の中で気になった点について追加で質問する場面もあり、大変有意義な時間となりました。

特に印象的だったのは、「女性の皆さんが(株)マキタへ研修に来るのは初めての事で、本社からも半信半疑で“必ず報告を上げるように”と言われていたんですよ」とのお話があり、証拠写真を撮らせてくださいと笑いを誘う一幕もありました。女性部員からは「カタログを見るだけでは種類が多すぎて目につきにくい商品も多い」「以前からあったらいいな、と思っていた商品が既に製品化されていて驚いた」などといった声も聴かれ、実際に商品を目にする機会の貴重さを実感する訪問となりました。



涼しいし軽い！

◁女性部部長が試着した(株)マキタのファンベスト。動きやすくジャケット内全体に風がいきわたるので暑い日の作業にはピッタリ。お腹部分が開いており、女性としてはお腹が冷えすぎないという利点も。

### ホクレンくるるの杜

7月に「清里町フェア」も開催されたくるるの杜では、素材本来の味を生かしたビュッフェが人気の農村レストランにて昼食をいただきました。くるるの杜には近郊のJAから届いた新鮮な野菜や、加工品なども含めて道内各地の味覚が揃う農産物直売所も併設しており、ビュッフェ会場でも季節ごとの野菜がズラリと並んでいました。当日案内をして頂いた担当者の方からは「ミニトマトの“ネネ”という品種が大変人気なので是非味わっていただきたい」とお話があり、実際に食べた女性部員からも「甘くておいしい」「酸味が少なくフルーツトマトみたい」と絶賛する声が多く上がっていました。



# アカシヤ部会 ウェス切り



6月3日、JA清里町会議室にてアカシヤ部会のボランティア活動であるウェス切りが行われました。“ウェス”というのは、もともと工場の機械の油汚れを拭く際に使用する小さな布のことで、今回はいらなくなったTシャツやタオルを使用して、拭き掃除にも使えるウェスを作成しました。

この活動は毎年6月と11月の2回にわたって実施されており、作成したウェスは清里町内にある特別介護老人ホーム清楽園と介護老人保健施設きよさとに届けられます。

皆さまのご家庭で不要になった衣類やシーツなど綿素材の布がございましたら、JA清里町女性部事務局へお持ちいただければ幸いです。

6月13日にJA清里町女性部フレッシュミズ部が、以前より交流のあったJAこしみずフレッシュミズ部との合同スポーツ交流会を清里ゲートボール場にて開催しました。

当日は清里、小清水の混合9チームが編成されましたが、小清水の方々にとっては初めてのモルックということで、各チームの清里の部員からモルックのルールや投げ方のコツなどを教わっておりました。

試合は総当たり戦で進められ、同点で終わった場合は手押し相撲で勝敗を決めるなど激しい盛り上がりを見せ、どのチームも終始笑顔で試合を終えることができました。

モルック大会後には小清水町にあるレストランOLANGOにて昼食をとり、合同スポーツ交流会は終了しました。



## フレッシュミズ部 清里・小清水合同 スポーツ交流会



## 第22回 女性部レクリエーション

7月9日に学習センターの多目的ホールにて第22回女性部レクリエーションが開催されました。

当日は68名の部員が集まり、文化体育部である島田由希子さん（第5営農集団）と浅井絢子さん（第6営農集団）進行のもと、「お絵描きですよ」、「お名前ビンゴ」、「坊ちゃん嬢ちゃん」、「O×クイズ」といった4種目の競技が進められました。

会場は常に活気に溢れており、特に「O×クイズ」では1問目から1歳の畠山きなりちゃん（第2営農集団）が単独で正解するミラクルを見せ会場を大いに沸かせた場面もありました。

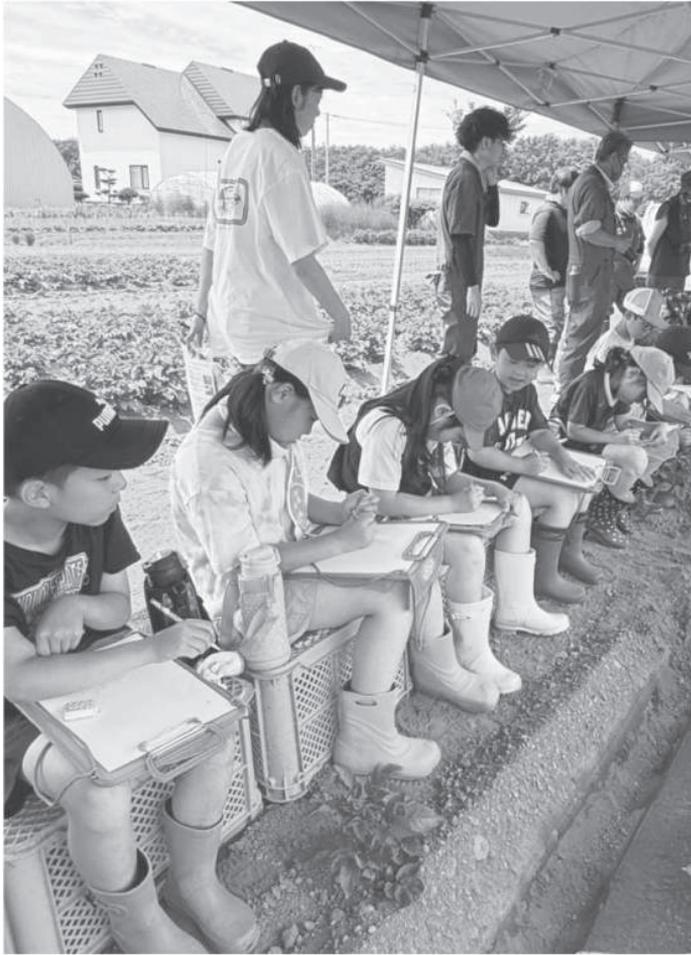
また、景品には女性部役員おすすめの「清里麦香房」で作られているイギリスパンが用意され、景品をゲットした女性部員からはたくさんの喜びの声が上がっていました。

## 令和7年度食農教育活動 清小楽しいキッズスクール農園 中間観察会

5月に清里小学校3年生が植えた馬鈴しよの中間観察会が、6月26日と7月17日の2回にわたって開催されました。

当日は、JA清里町野菜集出荷施設裏にある農協青年部の畑で元気に育った馬鈴しよを前に、子どもたちは熱心に観察をしながら、スケッチブックに書き写していました。茎の太さや葉の形など、一人ひとりが細部までじっくりと観察をして、自分なりの視点で表現しようとする様子がとても印象的でした。また、青年部員が実際にいくつかの馬鈴しよを引き抜いて実と根の状態を子どもたちに見せると、「じゃがいの赤ちゃんだ！」と驚きの声を上げていました。

2回目の観察会では、「葉っぱが前



よりも増えてる！」「花が咲いてる」などたくさん発見の音が上がり、馬鈴しよの変化に目を輝かせる姿から、作物への興味と観察力の深まりが感じられました。友達と絵を見せ合ったり感想を伝え合うなど、学びの中にも楽しさがあふれていました。

この活動は、小学校・町・JA・青年部の協賛のもと進めている食農教育活動の一環で、次世代を担う子どもたちが、農作業を通じて「食」と「農」の繋がりを学び、農業のすばらしさ・大切さを理解してもらうことを目的としています。

次回は10月に収穫作業、12月には収穫した馬鈴しよを使った給食会を予定しています。



## JAバンク食農教育応援事業 清里小学校へ教材本を贈呈

6月18日、清里小学校の5年生へJAバンク食農教育応援事業として、JA清里町工藤専務より教材本を贈呈しました。

JAバンクでは平成20年度から、全国の子どもたちに向けて食農教育などの取組みを実践する「JAバンク食農教育応援事業」を展開しており、この事業の一環として、子どもたちが「食」と「環境」と「農業」への理解を深めるきっかけとなることを願い、補助教材「農業とわたしたちのくらし」を製作し、全国のJAバンクから小学校へ贈呈しております。

上部記事にもありますように、現在当JAでも『清小楽しいキッズスクール農園』に取り組んでおりますので、今後とも積極的に食農教育活動に努めて参りたいと思います。



## 廃プラスチック回収

6月16日・17日の2日間で、農村環境の保全産地としての取り組みとして、神威麦作センターにて今年度1回目となる廃プラスチックなどのリサイクル回収が行われました。

今回の受入戸数は、組合員150戸（前年度実績150戸）、農ビ・農ポリなどの受入総重量は48,290kgとなり、段ボールの回収については1,850kg、長いもネットは1,720kgの回収となっております。

多くのリサイクル回収が行われましたことに対し、組合員各位のご協力に感謝致します。



## 清里町農協青年部 農畜産・農政部学習会

7月9日、JA清里町2階会議室にて、清里町農協青年部による「令和7年度青年部第1回農畜産部・農政部学習会」が開催されました。

学習会は農畜産部と農政部の2部構成で行われ、第1部では(株)福田農場代表取締役福田氏より「陸稲について」の講義をしていただきました。続く第2部では清里町農業委員会本間次長、荒木職員より「農地の賃貸借の制度変更について・農業者年金について」の講義をしていただき、どちらの講義も青年部員からは積極的な質問があり、大変有意義な学習会となりました。

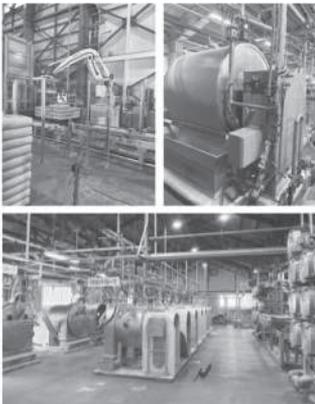


## 管内系統でん粉工場 職員視察研修会

7月17日から18日の2日間、製造課職員2名が南十勝農産加工農業協同組合連合会で行われた才ホーツク管内系統でん粉工場職員視察研修会に参加して参りました。

本研修会では、南十勝農工連の概要と製造工程の説明後、工場の製造ラインの見学、質疑応答と意見交換を行いました。

今回の研修を通して南十勝農工連の製造工程について詳しく知ること、当JAの工場設備と比較し、今後改良すべき点がないかを考える良い機会となりました。また、各工場職員と意見交換を行うことで自分の担当以外の部分についても知識を深めることができました。今回学習したことを今後の業務に活かせるよう励んで参ります。



## 畜産交流会

7月16日、清里町酪農組合および清里町和牛生産改良組合の組合員やそのご家族、関係者あわせて29名が参加し、「畜産交流会」が開催されました。

当日は、道の駅パスタランドさつつる横のパークゴルフ場を会場に、JA清里町工藤専務による開会の挨拶を皮切りに、パークゴルフ大会が行われ、その後の懇親会では、清里町和牛生産改良組合佐野組合長による乾杯の音頭とともに、焼肉を囲みました。

厳しい暑さの中での開催となりましたが、体調にも配慮しながら、終始笑顔の絶えない時間となりました。

締めには、清里町酪農組合岡崎組合長が挨拶を行い、交流会は盛況のうちに終了しました。



## 健康管理研修

6月16日、「心の健康と生活習慣病予防」についての健康管理研修がJA清里町2階会議室にて実施されました。

講師には北海道農業団体健康保険組合の方をお招きし、早期発見に繋がる職場でのコミュニケーションの重要性、健康診断結果と生活習慣の関連、生活習慣改善のポイントを講義していただきました。

生活習慣病は長年の悪習慣の蓄積で発症し、放置すると重大な疾患を引き起こす可能性があります。再検査や精密検査の指示があった場合は速やかに病院を受診するよう、職員同士だけでなく周囲の方々への声掛けも意識して行っていけるよう心掛けて参ります。



## 認知症サポーター養成講座

6月24日、清里町役場保健福祉課地域包括支援グループから5名の講師をお招きし、認知症サポーター養成講座が開催されました。

講座では、清里町で年4回開催されているオレンジカフェ(認知症カフェ)についてや、実際の事例についての動画の視聴、また認知症の方との関わり方などを学び、参加者には認知症サポーターの証であるオレンジリングが配布されました。

65歳以上の39%が発症しているという認知症。清里町にサポーターを増やし、認知症に不安を感じている方々が安心して暮らせるよう私たちJA職員も日々学んでいければと思います。



## 避難訓練

7月10日、JA清里町本部事務所および農業資材センターにて、火災発生を想定した避難訓練が行われました。訓練では、非常ベルの鳴動とともに、本部事務所の正面玄関からエコーコブ裏手まで、職員が速やかに避難しました。

続いて、農協事務所裏の駐車場では、清里消防のご協力のもと、消火器の正しい使い方についての講習が実施され、訓練用の消火器を使った実技体験も行われました。

火災を未然に防ぐためには、日頃の心がけと確認が何よりも重要です。今後も、万が一の際に落ち着いて行動できるように、職員一同、防災意識を高めて取り組んで参ります。



## 安全衛生大会

7月9日と16日の2日間、JA清里町2階会議室にて、清里消防から4名を講師にお迎えし、応急手当の初期対応およびAEDの使用方法についての実技講習が行われました。

講習では、清里消防による説明の後、参加者が4つのグループに分かれ、心肺蘇生法とAEDの使用を1人ずつ体験を通じて学びました。また、「緊急時に皆さんが行う応急手当が命を救う大きな力になる」と、消防の方から力強いメッセージもいただきました。

JA清里町では、正面玄関にもAEDを設置しております。いざという時に落ち着いて対応できるよう、今後も職員全員が命を守る意識と知識をしっかりと備えていきたいと考えています。





## 令和7年度 夏季懇談会開催

7月14日、令和7年度の夏季懇談会がJA清里町2階会議室にて開催されました。

懇談事項は「令和7年度麦作事業の取り扱いについて」、「GP発生に係る各種作業の注意事項について」、「暫定」令和8年度主要作物指標面積の設定について、「でん粉工場排水処理施設取得に向けた進捗状況と今後の対応について」、「その他」の5項目について説明し、ご意見をいただきました。

質疑には倒伏麦の刈取り料についての質問や、農作業安全の周知について、でん粉工場の関係などについての意見が挙げられ、懇談会は終了しました。



## 役員道外視察研修実施

6月25日～28日の4日間の日程で役員道外視察研修が行われ、農協役員10名が参加し、ホクレン大阪支店と日本食品化工機、JA全農を訪問し、視察をさせていただきました。

ホクレン大阪支店での視察では、前段で『ホクレン大阪支店の概況について』、『食品部の概要』、『豆類・青果・砂糖の販売情勢』などの説明があり、『大豆価格の安定化に向けた対応について』、『消費者ユーザーへの理解促進に向けての取り組み』などについて意見交換が行われました。

日本食品化工機では、『富士工場の概要説明』の後、富士工場の構内説明をしていただきました。意見交換では、『20年前に視察に伺った頃からの工場の技術的な進歩について』、『富士工場の排水処理施設について』、『ろ過に使用されている珪藻土の耐久力について』などの質問が挙げられました。

JA全農では、でん粉関係の意見交換として、『国産でん粉をめぐる情勢について』、『東日本管内の馬鈴しよでん粉販売情勢について』の説明があり、その中で「清里町のでん粉が食品としてだけでなく、医療用としての人気も高い」というお話もいただきました。

今回の研修で学んだことを清里農業に活かして参りたいと思います。



## 清里町のうきょう年金友の会 パークゴルフ大会

7月17日、清里町のうきょう年金友の会による「パークゴルフ大会」が緑ヶ丘公園で開催されました。

当日は69歳から90歳までの33名が参加し、長年の経験が伺える見事なプレーが随所で見られました。また、技術を競い合うだけでなく、久しぶりに顔を合わせた仲間たちとの再会を楽しむ和やかな時間も広がっていました。

大会終了後は、ホテル緑清荘にて懇親会が開かれ、成績発表と表彰式が行われる中、参加者同士の交流も深まり、大いに賑わいを見せました。

### ☆優勝

男性部門 山中 義和さん  
女性部門 大平 恵美子さん

### ☆準優勝

男性部門 武山 栄勝さん  
女性部門 鈴木 美穂子さん

### ☆3位

男性部門 岡本 年行さん  
女性部門 二俣 啓子さん

(同打数の場合は年齢により  
順位を決めております)





## 健康コラム (全4回)

医療法人社団 桂友会  
網走脳神経クリニック  
理事長 藤田力

### 第2回 「かかりつけ医に求められること」



医療の進歩によって、昔は助からなかった病気が、かなり今では治る病気になってきました。癌も早期発見できれば根治だって夢ではなく、多くの疾患を未然に防ぐことができるようになりまし。医学の進歩は目覚ましく、昭和の時代であれば心臓疾患や脳疾患は10万人規模の中規模都市以上でなければ救急の受け入れもできないのが現実でした。今では通常どこにもある機器であるCTやMRIも日本全国にいきわたったのは平成時代ではなかったでしょう。私の記憶にあるのは昭和50年代にやっと大病院にCTscanが導入され、MRIは昭和60年代です。そしてほとんど専門科に細分化され、同じ内科・外科でも臓器別に縦割りになっていきました。脳神経外科の独立は早く昭和40年代の「交通戦争」の時代に頭部外傷を見る方向で分化したと北大の初代教授都留先生がおっしゃったお言葉を覚えています。

少子高齢化で、当たり前の医療が特殊化し、昔は当たり前だった結核診療が一般診療では診ることが困難（非難しているわけではありません）な現実があり、新型コロナウイルス感染症で心身がすり減った医療者や介護従事者・行政関係者が多い昨今でした。自宅で産婆さんに取り上げてもらった年代の私ですが、その時代に戻ることはできませんし、

疾病構造と年齢構成の変化がありその努力はするべきではないと考えます。医療に携わる関係者が長く仕事に従事し、特に地域に根差す医師が中心になって多くの職種の方々と自分の得意を少しでよいので広げつつ、特に医師が足りない分をお互いが補い合い連携する必要があると考える次第です。

わからないことは調べるがいつまでも抱えない、迅速に専門医に送るべき時には紹介する、そんなかかりつけになりたいと私は目指しています。

時代の進歩についていくことはけっこう大変ですが。

藤田力（ふじたつとむ）  
青森県出身  
旭川医科大学医学部医学科卒業  
令和4年10月にクリニックを開院  
脳神経外科専門医  
診療案内：・物忘れ外来、頭痛外来、睡眠時無呼吸外来、禁煙外来、脳ドック、健康診断



## 野菜もの知り百科

土壌医 ● 藤巻久志

### ポップコーン(イネ科トウモロコシ属)

トウモロコシにはスイートコーン(甘味種、ポップコーン(爆裂種)、フリントコーン(硬粒種)、デントコーン(馬歯種)などがあります。スイートコーンは未熟の雌穂(しずい)を利用しますが、他の種のほとんどは完熟させて収穫します。

トウモロコシは風媒花で、花粉は200m以上飛ぶことがあります。他の種の花粉が雌穂から出る絹糸にかかる、粒の色や硬さが変わるキセニア現象を起します。栽培は他種と距離を置くか、種まき時期をずらします。

スイートコーンの草丈は160〜180cmで、種まき後80〜90日ごろに株の上の方に付いた雌穂を1本だけ収穫します。ポップコーンは草丈2m以上にもなり、生育旺盛なので1株で2本の収穫が可能です。

す。種まき後4カ月くらいで、雌穂の包皮や茎葉が完全に枯れてから収穫します。収穫後は包皮をむいて、軒先につるすなどして半月くらい乾燥させます。乾燥が不十分だとよくはじけません。常温で1年以上保存できます。乾燥させたポップコーンはスナック菓子「ポップコーン」の原料で、食べたいときに食べる分だけ穂から粒を指で剥がして、バターを溶かしたフライパンでいります。

フライパンにふたをしないと、はじけたポップコーンが所構わず飛び散ってしまいます。透明の強化ガラスのふたをすればはじける様子を見ることができ、子どもたちは大喜びです。1本の穂の実で井2杯くらいの量が膨らみます。胚芽、胚乳、外皮が除去されていない全粒穀物なので、食物繊維やミネラルが多く含まれ、ダイエット食品にもなります。



ポップコーンといえば映画館ですが、館内での飲食を制限するところが増えました。家庭では周りを気にすることなく映画などを鑑賞できます。塩や溶かしたキャラメルなどで好みの味付けをしたポップコーンを食べながら、ポップコーン発祥の地、米国の映画をお楽しみください。

# 理事会の経過を お知らせ致します



議案第4号 令和7年度 麦作セ  
ンター操業および麦  
作事業の取扱いにつ  
いて

議案第5号 令和7年度麦作セン  
ターの自主検定員の  
選任について

議案第6号 固定資産の取得につ  
いて

議案第7号 職員就業規則の改正  
について

## 報告事項

1. 令和7年度農作物作付実測の  
集約について

2. 令和7年度植物検診の実施に  
ついて

3. 令和7年度コンバインの配車  
について

4. 小麦萎縮病発生に伴うコン  
バイン運行について

5. JAバンク基本方針に基づく  
「体制整備モニタリング報告」  
について

6. JAバンク基本方針に基づく  
「経営管理資料」のうち農林中  
金が定める事項の報告につ  
いて

7. マネロン・テロ資金供与対  
策に関する取組状況および  
実施状況（令和7年3月末

基準）について

## 第7回

7月7日

## 監査講評

1. 令和7年度5月末監査講評に  
ついて

## 付議事項

議案第1号 令和7年度農作物お  
よび特用作物等作況  
調査の実施について

議案第2号 （暫定）令和8年度主  
要作物指標面積の設  
定について

議案第3号 でん粉工場排水処理  
施設取得に向けた進  
捗状況と今後の対応  
について

議案第4号 夏季懇談会の開催と  
懇談事項について

## 報告事項

1. 第2回オホーツク農協畑作青  
果対策委員会の内容報告につ  
いて

2. JAきたみらい産種馬鈴しょ  
の価格改定について

3. 飼料生産基盤立脚型酪農、肉  
用牛産地支援事業運営要領の  
設定について

4. 自主検定員業務体制について  
理事に対する資金の貸付に係  
る報告について

5. 長期共済一斉推進の結果につ  
いて

6. 内部監査の実施結果につ  
いて

7. 組合員の加入・脱退および  
事業の実施内容の報告につ  
いて

## 第6回

6月23日

## 付議事項

議案第1号 理事者との小豆買取  
販売に係る取引につ  
いて

議案第2号 令和7年産共同計算  
運営の基本事項につ  
いて

議案第3号 Gp発生に係る各種  
作業の注意事項につ  
いて

## 組合員状況

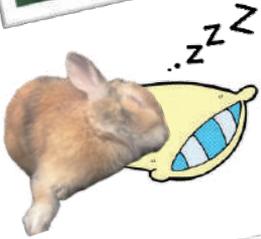
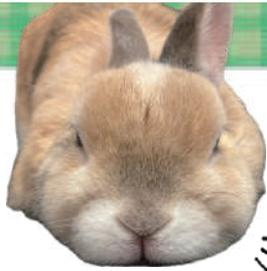
〈令和7年7月31日現在〉

■組合員数		〈前回報告より〉	
正組合員（個人）	203名	（変動なし）	
〃（法人）	18法人	（変動なし）	
准組合員（個人）	1,342名	（変動なし）	
〃（法人）	0法人	（変動なし）	
〃（団体）	17団体	（変動なし）	
	（合計）	1,580	

第5営農集団  
石井家

# うちの子自慢

我が家のかわいいペットを  
たっぷりご紹介!



## フリン

11歳のおじいちゃんうさぎ。  
トラ柄の見た目に反して  
とっても甘えん坊♡  
表情が豊かだけど、娘さんの  
歌は無表情で聞く  
一面もあるとかないとか…。

発行/清里町農業協同組合  
北海道斜里郡清里町羽衣町2番地  
TEL 0157-55-1111 FAX 0157-55-1100

編集/組合だより編集委員会  
印刷/星印刷工業株式会社

JA清里町 &  
関係者団体  
も参加決定!

## 第43回 清里町ふるさと産業まつり

9.7日 9:30~15:30  
モトエカ広場

JA関係からの参加団体

- ・JA清里町・清里町長いも生産組合
- ・清里町酪農組合・清里町和牛生産改良組合
- ・JA清里町女性部・清里町農協青年部